

家畜衛生情報

香 川 県 畜 産 課
 TEL(087)832-3426~8 FAX(087)806-0204
 香 川 県 東 部 家 畜 保 健 衛 生 所
 TEL(087)898-1121 FAX(087)898-9558
 香 川 県 西 部 家 畜 保 健 衛 生 所
 TEL(0877)62-0020 FAX(0877)62-3299

平成29年度全国家畜衛生主任者会議から

平成29年 4 月、農林水産省で全国家畜衛生主任者会議が開催されました。冒頭の山本農林水産大臣の挨拶では、「高病原性鳥インフルエンザ発生時には初動対応が迅速に行われており、今後も関係機関が連携し、オールジャパンで支えていきたい。」とのことでした。以下、会議内容の一部を紹介します。

平成28年度の高病原性鳥インフルエンザについては、国内の 9 道県、12の家きん飼養農場で発生が確認され、約165万羽が殺処分されました。野鳥でも22都道府県218件で高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されています。

平成28年度の発生農場の疫学調査結果では、渡り鳥が国内へウイルスを持ち込んだ可能性が高く、11月初旬までには侵入し、11月中旬までには国内の広い範囲に分布したと考えられています。農場や鶏舎への侵入経路として、①ネズミ等の野生動物により鶏舎内に持ち込まれた可能性、②人によって鶏舎内に持ち込まれた可能性が高いと考えられています。

今回確認されたウイルスの感染試験では、過去のウイルスと比較して鶏への病原性が低下している結果となりましたが、依然として病原性は高く、多くの鶏を死亡させることが明らかとなっています。このため、死亡羽数増加は早期発見の有効な指標と考えられています。

なお、高病原性鳥インフルエンザに関する情報については、農林水産省ホームページ
 (<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>) に随時更新していますので、御活用ください。

どのような家畜伝染病についても「発生予防」、「早期発見・早期通報」、「発生時の迅速・的確な初動対応」に重点を置き、今後も、飼養衛生管理基準の遵守の徹底をお願いします。

疾病情報

家畜伝染病・伝染性疾病発生状況(近県)

疾 病 名	畜 種	発 生 場 所	発 生 時 期	発 生 戸 数	発 生 頭 羽 群 数
ヨ ー ネ 病 (法 定)	牛	兵庫県、徳島県、高知県	H29. 4月～ 6月	3	4
牛 白 血 病 (届 出)	牛	兵庫県、岡山県、広島県、鳥取県 山口県、徳島県、高知県、香川県	H29. 4月～ 6月	52	61
牛ウイルス性下痢・粘膜炎 (届出)	牛	香川県	H29. 6月	1	1
破 傷 風 (届 出)	牛	高知県	H29. 6月	1	1
豚 丹 毒 (届 出)	豚	兵庫県、広島県、鳥取県、愛媛県 徳島県、高知県、香川県	H29. 4月～ 6月	15	44
伝 染 性 気 管 支 炎 (届 出)	鶏	兵庫県	H29. 4月～ 5月	2	14
ロイコチトゾーン病 (届出)	鶏	香川県	H29. 6月	1	2
アカリングニ症 (届出)	蜜蜂	香川県	H29. 5月	1	1

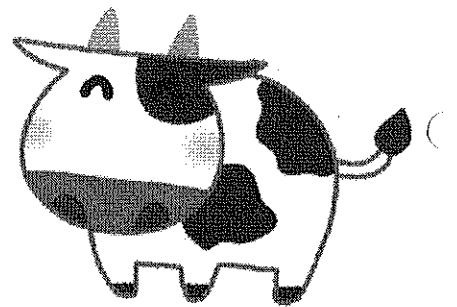
牛の免疫システムと乳房炎 (家畜衛生講習会(牛疾病)から)

乳房炎は経済的被害が年間800億円ともいわれ、対策に非常に苦慮する疾病です。乳房炎の発生には、病原体の感染、搾乳作業、飼養環境、牛の免疫という要因が総合的に影響しますが、今までの対策は、感染の治療と搾乳作業や飼養環境の改善という概念しかありませんでした。今回、ワクチンを利用する新しい対策について紹介します。

欧米では、乳房炎原因菌である大腸菌群とブドウ球菌用のワクチンがすでに数種類開発され、使用されていました。日本国内では、今年3月に大腸菌群、黄色ブドウ球菌、コアグララーゼ陰性ブドウ球菌に対する注射型の多価ワクチンの輸入販売が承認されました。対象とする細菌による乳房炎に感染した場合に、症状の軽減が期待できるとのことで、乳房炎対策にワクチンという選択肢が増えました。

なお、このワクチンは開発国の細菌に対して免疫を持つように開発されたもので、現在日本では、黄色ブドウ球菌による乳房炎に対するワクチンの開発を進めており、日本国内の細菌に合う国産ワクチンが早く製品化されることを望みます。

乳房炎対策に、ワクチン接種という新しい手段が加わりましたが、従来からの搾乳衛生、飼養衛生管理など総合的な対策を行うことが重要です。



豚丹毒の発生予防を見直しましょう (家畜衛生講習会(豚疾病)から)

豚丹毒とは、豚丹毒菌の感染によって起こる人獣共通感染症で、届出伝染病に指定されています。平成28年度には全国で457頭と多数の発生があり、本県でも散見されています。

豚丹毒菌は宿主域が広く、ブタ、イノシシのほかヒトを含む哺乳類、鳥類、魚類にも感染します。野外の浸潤調査では、イノシシは100%近くが抗体を持ち、カラスの糞便や足裏からも菌が分離されていることから、野生動物を畜舎に近づけない対策が必要です。このように野外で豚丹毒菌が常在していることから、豚丹毒の発生を予防するためには次のことが重要です。

- 1 ワクチン接種
- 2 他の感染症を防ぐ
- 3 消毒、野生動物の侵入防止など日頃の飼養衛生管理基準の遵守

生ワクチンは1回の接種で十分な免疫を付与できますが、移行抗体の影響を受けるので、移行抗体の消失時期を確認することと、ペニシリン系抗菌剤と併用するとワクチン効果が低下するので注意が必要です。不活化ワクチンは、移行抗体や抗菌剤の影響を受けにくいものの、2回接種が必要で免疫獲得までに時間がかかる特徴があります。また、環境面で不安がある農場では、効果が高く長く持続するオイルアジュバンド不活化ワクチンが有効です。

サーコウイルスやPRRSウイルスなどに感染すると、免疫が抑制されて豚丹毒が発症する恐れがありますので注意してください。

最後に、消毒、野生動物の侵入防止など日頃の飼養衛生管理基準を遵守して、豚丹毒の発生予防に努めましょう。

動物用抗菌剤の適正使用に御協力を

(家畜衛生講習会(基本講習会)から)

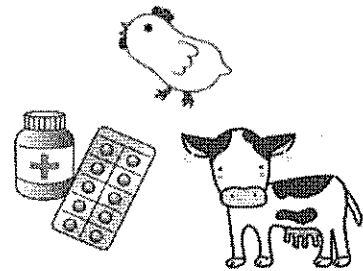
近年、世界的に、「抗菌剤が効かない細菌」である薬剤耐性菌による人の感染症が増加しており、大きな問題となっています。そのため、我が国では平成28年4月、今後5年間に人と動物などの関連分野が協働して取り組むべき対策をまとめた行動計画(薬剤耐性対策アクションプラン)を決定しました。アクションプランでは、抗菌剤が畜産分野でも、動物用医薬品や飼料添加物として使用されているため、畜産関係者に対し、薬剤耐性問題を理解し、「抗菌剤の慎重使用」の取組みを徹底・強化すること等が求められています。抗菌剤の慎重使用の具体的な取組みは次のとおりです。

① ワクチンの使用や飼養環境を整えることで病気を予防

動物の健康を維持し、抗菌剤を使う機会を減らしましょう

② 抗菌剤を使う際は、有効な抗菌剤を計画的に

- ・感受性試験などを行い有効な抗菌剤を選びましょう
- ・同じ抗菌剤を長期間使用することは避けましょう



抗菌剤を慎重使用する飼養管理が、家畜に対する抗菌剤の有効性を維持するとともに、国産畜産物に対する消費者の信頼に応えることにもつながります。畜産関係者が一体となった取組みへの御理解、御協力をお願いします。

病性鑑定だより

平成29年1月～6月までの病性鑑定実績は右表のとおりでした。

依頼が多かった検査は、牛では牛ウイルス性下痢・粘膜病検査(45件)、牛白血病検査(30件)、乳房炎検査(28件)、豚では死亡又は衰弱の原因検索(7件)、鶏では鳥インフルエンザ検査(12件)でした。発生した病気は、牛白血病や蜜蜂での寄生虫が原因のアカリンダニ症やバロア病などでした。

今回、乳牛での出血性腸症候群の疑い事例が確認されましたので、御紹介します。

病性鑑定実績(H29.1月～6月)

畜種	件数	延頭羽数
乳用牛	102	1,620
肉用牛	42	217
豚	12	133
鶏	17	447
その他	23	164
計	196	2,581

出血性腸症候群：比較的新しい病気のため、詳しくは解明されていません。

原因：*Clostridium perfringens* A型という細菌や*Aspergillus fumigatus*というカビの感染が原因の一つではないかと疑われています。

症状：搾乳牛での乳量の激減、右下腹部の膨満及び血餅混入**黒色タール便**の排出などが認められ、甚急性に出血性腸炎で死亡するとされています。解剖すると小腸粘膜の出血や**小腸内を閉塞する血液凝固物が確認されるのが特徴**です。

発症要因：高泌乳牛や粗飼料が少なく濃厚飼料を多給される牛で発生が多いようです。

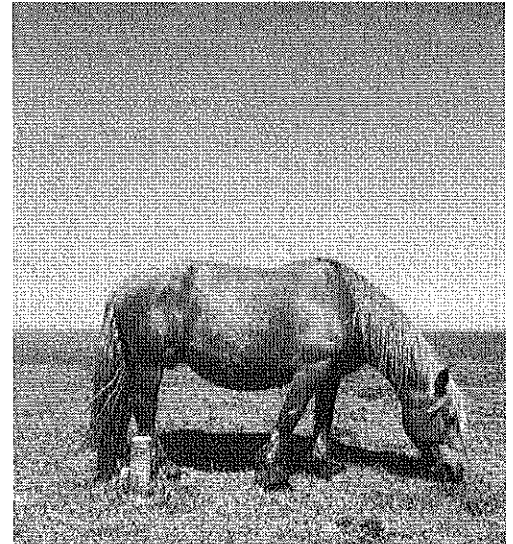
予防対策：原因菌に汚染された飼料の給与や濃厚飼料の多給を避けることなどが有効との報告があります。

新 人 だ よ り

はじめまして。平成29年度に香川県職員として採用され、西部家畜保健衛生所に配属になった原基（はら はじめ）と申します。三豊市出身で、趣味は旅行、好きな食べ物はもちろん「うどん」です。北里大学に進学し、1年間を神奈川県で、5年間を青森県で過ごしました。県外に出てから旅行が好きになり、特に青森県では十和田湖・奥入瀬溪流、八甲田山や岩木山、弘前城、青森市のねぶた、白神山地、竜飛岬、大間崎、恐山、尻屋崎、仏ヶ浦、八食センター、燕島、種差海岸などの名所を見て回っていました。

その後、大学を卒業して香川県に帰ってみますと、こっちはことはまるで知らないということに愕然としました。どこに何があるのか位置関係もさっぱり分からない。祭りの時期も分からない。これから香川県に勤めるのに何も知らないままではいけない。そこで香川県について知ることを始めました。

釜玉うどんを初めて食べ、飯野山に初めて登り、小豆島を初めて観光しました。それぞれの場所で香川県の魅力を堪能できました。香川県の魅力を県外の人に伝えられるように、もっと香川県のことに詳しくなっていきます。これからはずっと香川県で働きますので、仕事に取り組み、さまざまなことを学んで畜産農家さんたちのお役に立てるように頑張ります。まだまだ未熟者ではございますが、御指導御鞭撻をよろしくお願いいたします。



「寒立馬」

寒立馬（かんだちめ）は、青森県の天然記念物に指定。下北半島の尻屋崎で周年放牧されている。

<お知らせ>

○第11回全国和牛能力共進会香川県出品牛の選出について

9月7日～11日にかけて宮城県仙台市で開催される和牛の祭典である「第11回全国和牛能力共進会」の香川県出品牛が下記のとおり選出されました。

出品区分	出品者	牛の名号
種牛（繁殖用雌牛）の部 第3区（若雌の2）	塩田 薫（善通寺市）	おれんじ
肉牛の部 第9区（去勢肥育牛）	塩田 清勝（三豊市）	津嶋安福
	竹内 登（土庄町）	美津郎

○第81回香川県畜産共進会

第1部（乳用牛）、第2部（肉用種牛）：11月8日（水）、9日（木） 綾川町 香川県家畜市場
 第3部（肉豚）：10月27日（金）、28日（土） 坂出市 株式会社香川県畜産公社
 第4部（肉牛）：11月28日（火）、12月1日（金） 坂出市 坂出食肉地方卸売市場
 知事賞授賞式：12月10日（日） 高松市 サンポート高松